

## 株式会社 PAL構造

### 企業概要



### 《企業紹介》

代表者	代表取締役社長 久松 好己
本社所在地	長崎市旭町8番20号
設立	昭和54年
従業員数	130名

### <事業内容>

建築・土木・プラント・船舶・海洋構造物・各種機械などの構造設計、構造技術の研究・開発およびコンサルティング、各種情報システムの開発販売、環境およびエネルギー関連製品の開発販売など

### インターンシップ実施日程

令和3年8月23日～8月27日（5日間）

### 研修内容

#### 構造設計（鉄骨構造）

##### ・構造計画及び設計

Excelや各種解析・設計プログラム、3Dモデリングソフトを用い、与えられた条件・制約の中でインターン生が最適と考える構造計画、部材選定を行う。

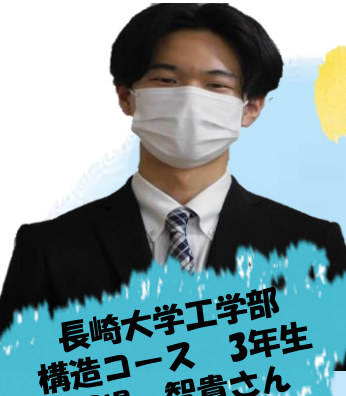
最終日には報告会を実施。



日本の西の端長崎に居ても、全国はもちろん、海外の建築構造物を、自社開発を含めた様々な設計ツールを用いて、構造設計ができます。構造設計技術者集団の中に入って、体験してみませんか。

インターンシップ担当  
溝上 稔  
第二構造設計部 部長

## インターンシップ実習生




長崎大学工学部  
構造コース 3年生  
富場 智貴さん

鹿児島市出身。  
大学では、分野にとらわれず、建築・土木・船舶など幅広く勉強中。  
バイクが趣味で、実家のある鹿児島市まで、バイクで往復することも。

Profile

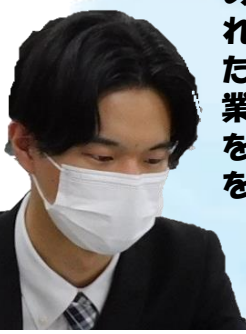
長崎市出身。  
大学では建築や機械系の構造全般を学んでいる。  
趣味は読書。

Profile



長崎大学工学部  
構造コース 3年生  
朝長 拓海さん

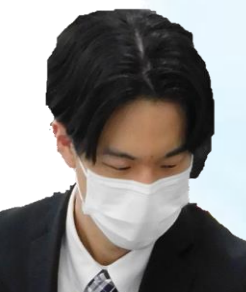
### Q. PAL構造さんのインターンシップに参加しようと思った理由は？



普段学んでいることが実際の現場でどのように活かされているのかを学びたかったのと、自分のコースを卒業された先輩がPAL構造さんを起業されたことに親しみを感じたので参加しました。

僕は構造系に興味があり、長崎で構造系を扱っているのはPAL構造さんと大学の先生から話を聞いて、参加したいと思いました。

### Q. インターンシップ参加にあたって、事前に準備したことはありますか？



ホームページに掲載されている動画を見たり、PAL構造さんの業務内容を調べたりしました。  
また、知識が無いと学べるものが少ないと思ったので、普段から大学の勉強をしっかりと準備しました。

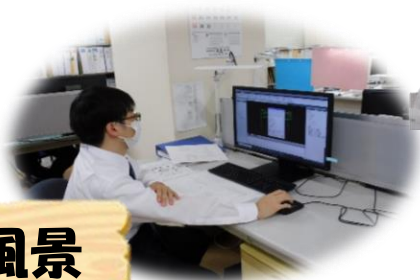
コロナ禍ということで、感染対策をしっかりとしました。  
また、ホームページを見て、PAL構造さんがどういった建物を建てたり構造設計をしているのかを調べました。



### Q. 印象に残っている業務はありますか？

単純な建物をモデルに、建物がどのようにして成り立つか、安全性や経済性を考慮してどのような鋼材を選んでいくかをモデリングする業務をやりました。業務に取り組む中で、大学で学んだことが実際にどのように活かされるのかイメージを広げることができました。

ソフトウェアの使い方から学ばせていただき、実際に3Dモデリングソフトで計画をして、そのモデルを構造計算用のモデルに変換し、諸条件を与えて計算する、という一連の流れをやらせていただきました。実際に熊本地震で柱がどのように倒れていったのか等、今まで意識したことがなかったことを学ぶことができ、大変参考になりました。



### 実習風景

### Q. 職場の雰囲気はどうでしたか？

社員さんが本当に優しい方たちばかりで、質問をしても気軽に教えて下さって、働きやすい職場だな、と思いました。

職場に対して固いイメージを持っていたんですが、実際に参加すると、たまに冗談を言い合ったり、といった柔らかい雰囲気を感じました。気軽に質問もしやすい雰囲気で、色々な方とお話できてよかったです。



### Q. 最後に、今後インターンシップに参加する後輩学生にアドバイスをお願いします！

大学でしっかり勉強していないと、インターンシップで得られるものも少ないと思います。まずは普段の学びに取り組んだ上でインターンシップに参加することでイメージを膨らませることができると思います！

大学で学ぶことが実際に何に使われているのかは、勉強しているだけでは分からないので、1回現場を見て経験しておくことは必要だと思います！

